

こどもが しるべき テサロニケびとへの てがみ だいいち

1 か わたしは どのように しんこうせいかつを していますか



I テサロニケ 1:1

パウロ、シルワノ、テモテから、父なる
神および主イエス・キリストにあるテサ
ロニケ人の教会へ。恵みと平安があな
たがたの上にありますように。

1. 解答を知っているのに、小さなところから解答を探さなければなりません (I テサロニケ 1:1)

- (1) パウロ、シルワノ、テモテはチームを作って出会いの祝福を味わいました
- (2) 教会でイエス・キリストを伝えました 使徒 17:1~9

2. 私が受けている答えはどんなことですか I テサロニケ 1:1

- (1) キリストにある答えを受けます
- (2) 恵みがある答えを受けます
- (3) 平安がある答えを受けます





3. 未来をレムナントはどのように見つけることができますか

- (1) パウロとテモテは、幼いころに勉強に成功しました
- (2) 福音を味わい始めれば、神様が私にくださる召命と使命を発見することができます
- (3) 福音と伝える伝道者と友だちとの出会いを通して未来とタラントを見つけれられます



背景のはなし

テサロニケ人への手紙第一の背景のはなし パウロの愛がいっぱい入っている手紙

パウロは、エペソ人への手紙とコロサイ人への手紙、ピレモンへの手紙などたくさんの手紙を書きましたが、テサロニケ人への手紙その中のひとつです。パウロは世界宣教のためにいろいろな地域に福音と伝える旅行をしました。しかし、パウロの心の中にはいつもテサロニケに残してきた信徒たちがありました。パウロは、テモテを送って信徒たちがどのように過ごしているのか、ニュースを知らせるようにと言いました。テモテは信徒がしっかりと信仰生活をしていて、パウロに会いたがっていると伝えました。そして、パウロはテサロニケ教会の信徒を励ますために手紙を送ったのです。

パウロはテサロニケ教会の信徒たちが墮落する生活に入っていないようにと励まして、仲間をつくって争うなと言いました。そして、イエス様がもういちど来られる日についての話もしました。



パウロは、各地域の信徒たちを愛して彼らに愛がいっぱいの手紙を送ったのです。すべての出会いを伝道の門として、いのちをいかす通路として見たためです。

考えてみよう

- ① 私は小さな出会いも伝道と宣教の心をいだいで大切に思っているかな？
- ② 神様が私にこの出会いをくださる理由はなにか？

こどもが しるべき テサロニケびとへの てがみ だいいち

2かどのように いのるべきでしょうか

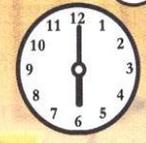


I テサロニケ 1:2
 わたし
 私たちは、いつもあなたがたすべて
 のために神に感謝し、祈りのときに
 あなたがたを覚え、

1. 成功と失敗はかならずきます

- (1) よい習慣を持てば成功します
- (2) 悪い習慣を持てば失敗します

早起したので、一日が長いな！
 みことばを黙想して一日をはじめたら力が出る！



神様が聖霊で私とともにいてくださって感謝！



2. いつも感謝すべきです

- (1) ただ聖霊によって力をうけて、イエス・キリストの証人として立ててくださった福音を体験すべきです (使徒1:1, 1:3, 1:8)
- (2) 心をひとつにして祈りに専念する祈りの体験をすべきです (使徒1:4, 2:42)
- (3) 聖霊に満たされて神様の祝福を味わうべきです (使徒2:1)

3. いつも祈って小さい答えを見るべきです

- (1) ペテロは足なえにながに必要なのかを見ました (使徒3:1~12)
- (2) ペテロとヨハネはイエス・キリストの御名によってだけ救われるという事実を宣べ伝えました (使徒4:1~12)
- (3) ユダヤ人ではない他の民族にも福音を伝えました (使徒11:19~30)
- (4) バルナバとパウロは、聖霊に送られてキプロスで伝道しました (使徒13:1~4)
- (5) パウロはまぼろしを通して神様から呼ばれてマケドニヤに伝道しに行きました (使徒16:6~10)



バルナバ パウロ

できよう
適用

わたしも私 持っているよい習慣を書いてみよう

よい習慣

- ① _____
- ② _____
- ③ _____

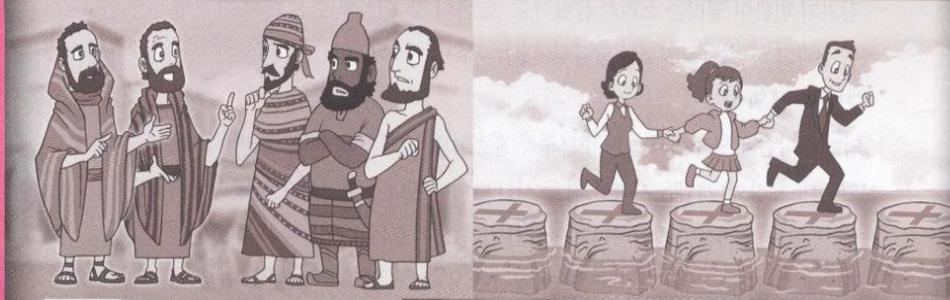
$$+ \text{感謝} + \text{いつも祈り} = \text{生活で答えをうけます!}$$

考えてみよう

- ① 私が持っているよい習慣と悪い習慣は
なにか。なぜよい習慣をもつべきなのかな。
- ② 私のまわりで感謝することがなにかあるか
考えてみよう。



3か どのように でんどうすべきでしょうか



I テサロニケ 1:3~5

絶えず、私たちの父なる神の御前に、あなたがたの信仰の働き、愛の労苦、主イエス・キリストへの望みの忍耐を思い起こしています。神に愛されている兄弟たち。あなたがたが神に選ばれた者であることは私たちが知っています。なぜなら、私たちの福音があなたがたに伝えられたのは、ことばだけによったのではなく、力と聖霊と強い確信とによったからです。また、私たちがあなたがたのところで、あなたがたのために、どのようにふるまったかは、あなたがたが知っています。

1. 私の現住所はなんですか

- (1) いついちばんうれしいですか
- (2) いついちばん悲しいですか



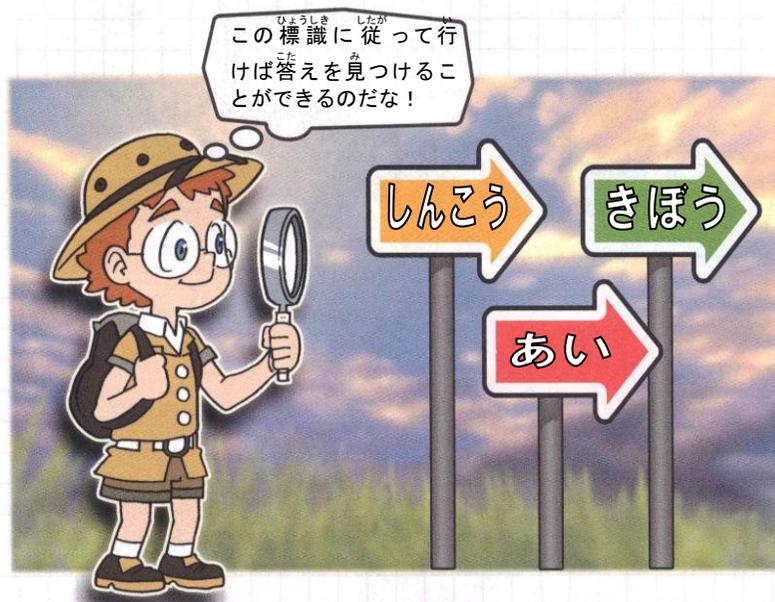
やっぱり、ポケモンが
いちばんおもしろい！
ぜったい、いい！

おなかがすいて眠い！
はやく終わればいいの
に！



2. 答えをどこから探することができますか Iテサロニケ1:3
- (1) イエス・キリストを信じる信仰から探します
 - (2) 愛の労苦から探します
 - (3) 希望の忍耐から探します

3. 証人の生活をどのようにしていくべきでしょうか。
- 苦しみの中で探することができます Iテサロニケ1:5
- (1) 福音の力によって可能です
 - (2) 聖霊によって可能です
 - (3) 強い確信によって可能です



ぬりえ

私の現住所はどんなのかを考えながらきれいに色をぬろう



考えてみよう

- ① 神様がくださった答えを探す奥義はなにか
- ② 神様が私を証人として呼ばれました。
証人の生活を送るためになにを实践すべきなのか

こどもが しるべき テサロニケびとへの てがみ だいいち

4か どのようにサミットに なることができますか

summit★

★サミット (summit) : ちょうじょう、さいこうと いう いみです



I テサロニケ 5:16~18

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。
すべての事について、感謝しなさい。
これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに
望んでおられることです。

1. はじまりを学ばなければなりません—3つのことを見習いましょう (Iテサロニケ2:1~20)

- (1) 伝道者のモデルを見習わなければなりません 使徒17:1~9
- (2) 答えを受ける者を見習わなければなりません Iテサロニケ2:12
- (3) 成功したレムナントを見習わなければなりません Iテサロニケ2:19

2. 未来を抱いて準備しなければなりません

- (1) 個人の未来を準備しましょう
- (2) 時代の未来を準備しましょう
- (3) 地球の終わりの日を伝道で準備しましょう



3. いつもしなければならないことがあります I テサロニケ5:12~22

- (1) 牧会者と信徒を愛さなければなりません
- (2) 喜びと祈り、感謝で私を守らなければなりません
- (3) 聖霊の導きとみことばにしたがって、神様を愛さなければなりません



クイズ

学院福音化クイズ

- 1◆テサロニケ人への手紙第一の著者は () です。
- 2◆パウロとチームになったふたりの名前は
▲ ()、()
- 3◆テサロニケ人への手紙第一は () 教会の
信徒に書いた手紙です
- 4◆頂上、最高という意味の英語の単語で summit と書きます
▲ ()

考えてみよう

- ① 私は福音を持ったサミットになるために、なにを準備すべきなのかな?
- ② 感謝を回復する方法はなにがあるのかな?

